

# 若鷺の坂

〒681-0003 鳥取県岩美郡岩美町浦富707番地  
 TEL 0857(72)0121(職員室) (73)1633(事務室)  
 URL <http://www.torikyo.ed.jp/iwami-j/>



## 秋季大会 (新人戦)

# 女子羽球 団体・個人戦ダブルス 準優勝

## 男子卓球団体・男子バレーボールはともに3位入賞

10月4日(金)・5日(土)を中心に東部地区の各会場で秋季体育大会が開催されました。本校は優勝こそありませんでしたが、女子羽球部が団体戦と個人戦(ダブルス)で準優勝を飾ったのを筆頭に、複数の部が上位入賞を果たしました。生徒数が往時の岩美中からすると随分と減少していますが、それでも近年、各部が存在感を示す活躍をしてくれており、うれしい限りです。



今回、本校で最も好成績となった女子羽球部は、部員が2年生2名、1年生4名の計6名と少人数ながら実力者ぞろい。2年生の竹本唯菜さんがキャプテンとして引っ張るチームは向上心にも溢れている。近年、強豪校として名をはせている中ノ郷中学校と決勝で相(あい)対し、敗れたものの決して完敗ではなかったこと、さらには個人戦ダブルスでも1年生ペアが準優勝を果たしたことは、今後の一層の飛躍に向けて確かな手応えをつかんだと言える。



女子羽球部キャプテン、竹本唯菜さん(2年)

### 女子羽球 (団体戦)

- 1回戦 対 鳥東中 3-0 ○
- 2回戦 対 鳥南中 2-0 ○
- 準決勝 対 桜ヶ丘中 2-1 ○
- 決勝 対 中ノ郷中 0-2 ●

#### 準優勝

(個人戦シングルス)

竹本唯菜(2年) **ベスト8**

福田莉子(1年)・田中美羽(1年) **ベスト16**

(個人戦ダブルス)

美谷侑花(1年)・中島成菜(1年)ペア **準優勝**



### 男子バレー

- 予選リーグ 対 鳥南中 2-0 ○
- 対 桜ヶ丘中 2-0 ○ →1位通過
- 決勝リーグ 対 智頭中 2-0 ○
- 対 気高中 1-2 ●
- 3位決定戦 対 桜ヶ丘中 2-0 ○ **3位**

### 女子バレー

- 予選リーグ 対 千代南中 2-0 ○
- 対 鳥西中 2-0 ○ →1位通過
- 決勝トーナメント 対 河原中 0-2 ●
- 順位決定戦 対 智頭中 2-0 ○ **5位**

### 女子バスケット

- 予選トーナメント 対 八頭中 87-11 ○
- 対 鳥南中 50-73 ●
- 順位決定戦 対 青谷中 76-42 ○
- 対 鹿野学園中 45-63 ● **6位**

### 野球

- 1回戦 対 鳥大附中 3-4 ●

### 男子卓球 (団体戦・予選リーグ)

- 対 鳥西中 3-0 ○
- 対 若桜学園中 3-2 ○
- 対 湖東中 3-0 ○ → 予選1位通過

(団体戦・決勝トーナメント)

- 準々決勝 対 鳥大附中 3-1 ○
- 準決勝 対 八頭中 0-3 ●
- 3位決定戦 対 中ノ郷中 3-2 ○ **3位**

(個人戦1年) 井本爽太 **ベスト8**

溪本泰世・大森みのり **ベスト16**

(個人戦2年) 中野良彦・喜瀬有呂波・濱納迅 **ベスト16**

### 女子卓球 (団体戦・予選リーグ)

- 対 桜ヶ丘中 0-3 ●
- 対 鳥大附中 0-3 ●
- 対 中ノ郷中 0-3 ● →予選リーグ敗退

(個人戦1, 2年) いずれも3回戦までで敗退

### 男子ソフトテニス

- (個人戦) 赤坂宇宙(2年)・澤怜穂(2年)ペア **ベスト24**
- 田中瑠依(2年)・澤友貴(2年)ペア **ベスト24**

(団体戦) 1回戦 対 河原中 1-2 ●

### 女子ソフトテニス

- (個人戦) 清水七海(2年)・米原真菜(2年)ペア **ベスト16**
- 澤瑞穂(2年)・太良木荷花(2年)ペア **ベスト24**

(団体戦) 1回戦 対 気高中 1-2 ●

### 弓道

(個人戦) 男女とも予選敗退

(団体戦) 男子 決勝進出 **ベスト8**

女子 予選敗退

### 男子バスケット (東中との合同チーム)

- 予選トーナメント 対 国府中 42-50 ●

フォト・ギャラリー



女子バスケット部は2試合目で今大会準優勝した鳥南中と対戦。準優勝チームを相手に第3ピリオドには5点差まで迫る健闘を見せ、力をつけていることを示した。順位決定戦に回ってからのやや集中力を欠いた試合内容となった点が課題が！



ソフトテニスは男女とも団体戦勝利はならなかった。男女各1面ずつしかない町民コートでの練習環境には厳しいものがあるが、工夫と意識の高さで春を目指したい。



女子バレーボール部も2年生は二人しかいない(中野咲さん、田中蘭さん)。しかし、二人とも高い打点で強烈なスパイクが打てるアタッカーで、1年生にも有望選手がそろっており、チーム力は高い。今大会、決勝トーナメントの初戦で河原中に敗北を喫したことは悔やまれるが、絶対王者の米子北斗中をも倒せる可能性を秘めたチームだ。



男子卓球団体3位入賞に大きく貢献した喜瀬有呂波君(2年)は、卓球を始めたのは中学校に入ってから。派手さや威圧感があるわけではないが、勝ちが計算できる選手で信頼は厚い。

弓道部は2年生がおらず部員は1年生のみ。まだまだ力不足ではあるが、経験を積み、互いに切磋琢磨して強くなってほしい。



目標を高く掲げる男子バレーボール部は、初の公式戦となる今大会で3位に入ったものの、優勝できなくて悔しいというのが部員の正直な気持ちだろう。優勝した鳥北中との差をどのように分析するのか、そして何を指すのか、この秋から冬、そして春への成長を注目したい。



新チームとなった野球部は、尾崎透生君(2年)が好投し、野澤宏輝君(2年)がランニングホームランを放つなどの活躍を見せたが、残念ながら初戦敗退となった。野球が大好きな生徒達、悔しさを胸にこれから鍛えていく。

野嶽孝太君(3年)  
ビームライフルで  
全国大会の県代表に選抜

エアライフル、ビームライフル、ビームピストルの3種目で競われる射撃の大会、第1回全日本選抜小中学生大会の鳥取県代表男女6名のメンバーの一人に、本校3年の野嶽孝太君が選出されました。大会は13,14両日、新潟県で行われる予定でしたが、台風の接近を見越し、残念ながら中止となったとのこと。関係者によると、メンバーは全国で上位を狙えるレベルに育ってきているということであり、ビームライフルで出場する野嶽君の活躍も期待されていたところ。11月には山陰選手権大会があるということですので、ぜひ、頑張ってください。